自治会総合情報誌

# NASCA

・学生自治会のこれからの活動が決まりました！

・要望アンケートを実施します！！

Vol.33　2012年度前期自治委員会総会報告&要望アンケート情宣号

## はじめに

この冊子では、2012年6月14日に行われた前期自治委員会総会で決まったことや、学生自治会が9月末から11月にかけて行う要望アンケートの詳細について掲載されています。

# 目次


Ⅰ 自治委員会総会を開催しました・・・・・・P.2

Ⅱ 決議　これからについて・・・・・・P.4

1. 要望書に関する活動

2. 大学運営に関する活動

3. りんくうキャンパスについての活動

4. 情報宣伝・収集活動に関する活動

5. 立て看板管理局

6. 学生団体連絡会議

7. 大型 PA 再購入実行委員会

8. ステージ管理委員会

Ⅲ 決算報告・予算案提議・・・・・・P.11

Ⅳ 要望アンケート情宣・・・・・・P.15

Ⅴ 感想文に寄せられた意見・質問に対する回答・・・・・・P.16

# 前期自治委員会総会を開催しました!

学生自治会は、「学生とともに、よりよい学生生活を実現する」ことを目的に活動しています。しかし、自治会役員だけで活動を考えていては、本当にその活動が学生のためになっているのか分かりません。そこで、自治委員会総会にて、学生のみなさんに、これまでの活動と学生自治会の活動方針が学生の意に沿うものであるかどうかを考え、判断してもらっています。

2012年度前期自治委員会総会（以下、本総会）は、以下のように行われました。

〇開催日時　6/14（木）18：25~21:00

〇開催場所　B1棟東大教室

本総会では、主に以下のことが行われました。

●決議案提議

⇒学生自治会の活動報告と、これからの活動方針についての提議

●決算報告・予算案提議

⇒学生からお預かりした自治会費の使途に関する報告と、予算案提議

●決議案、予算案に関する質疑応答

●決議案、予算案に関する採決

●次期中央執行委員会役員選挙・次期会計監査委員選出

# 中央執行委員会役員

本総会の次期中央執行委員会役員選挙により、新中央執行委員会役員が選出されました。

中央執行委員会とは、学生自治会の短期的・具体的な活動を決定する機関で、学生自治会の中核と言えるものです。中央執行委員会には、以下の役職が定められており、それぞれの職務を行っています。

**委員長**　：学生自治会の代表であり、まとめ役です。
学生団体のまとめ役も担っており、学生団体の連携を図る上で重要な役職です。

**副委員長**：委員長の補佐役。委員長が職務を遂行できない場合に、その職務を代行します。

**書記長**　：自治会の会計を担当し、自治会が所有する物品の管理も行っています。

**書記次長**：書記長の補佐役。書記長が職務を遂行できない場合に、その職務を代行します。

**執行委員**：中央執行委員会の一員として、上記の役職を助け、自治会役員を先導する役職です。他にも、さまざまな庶務を担当しています。

# 2012年度中央執行委員会役員

| | | |
|---|---|---|
| 委員長 | 船見　達洋 | （工学部　機械工学科　2回生） |
| 副委員長 | 中岩　雄基 | （理学部　物理科学科　2回生） |
| 副委員長 | 松原　瞳 | （工学部　応用化学科　2回生） |
| 書記長 | 善光　哲哉 | （工学部　航空宇宙工学科　2回生） |
| 書記次長 | 鵜飼　光融 | （工学部　機械工学科　2回生） |
| 執行委員 | 吉留　翔哉 | （生命環境科学部　獣医学科　2回生） |
| 執行委員 | 溝口　祐樹 | （工学域　物質化学系学類　1回生） |

# 新委員長挨拶

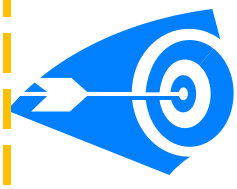
6月14日(木)に開催された2012年度前期自治委員会総会にて、新しく中央執行委員会委員長に就任しました、工学部機械工学科2回生の船見達洋です。

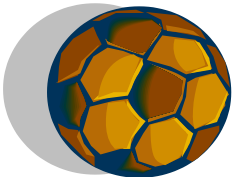
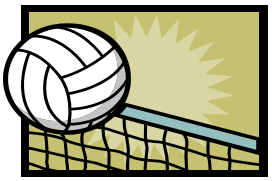
さて、今年度より大阪府立大学は学域学類制を導入し、教育のシステムやカリキュラムなど、様々な制度が大きく変わりました。

また、維新の会は「大阪都構想」の一環として大阪府立大学と大阪市立大学の統合を検討しています。

こういった制度の変化や大学の大きな変化が大学の一構成員である学生を軽視した形で行われることによって、学生の学ぶ権利や学習環境に悪影響があってはなりません。学生の学ぶ権利や学習環境を守るためには、私たち学生が意見を発し、活動を行っていく必要があります。

たとえ学生一人ひとりの意見の影響力が小さなものであっても、学生全員で協力することで大きな力となります。私たちの学ぶ権利や学習環境を守り、より良い学生生活を実現していくために、これからも学生自治会とともに活動していきましょう。



# 要望書の活動内容とは？？？
## ～その活動の全容をいざ解き明かさん！！！～

### そもそもなぜ「要望書」を活動として行う必要があるのか？

学生のみなさんがより充実した学生生活を送るには、日頃から抱く切実な要望を実現させることが必要だと学生自治会は考えます。しかし、どれほど**希望（きぼう）**する要望であっても**個人で訴えかける形**では大学にその実情が伝わりにくく、結果としてみなさんの**要望の実現が難しく**文字通り**希望（まれなのぞみ）**のままということが想定されます。そこで学生自治会は、**一人一人の意見を収集し**、その要望をもとに**みなさんを代表して要望を大学に訴えかけていく**ことで要望の実現を目指していきます。そのために要望書に関する活動を行っていく必要があります。

### では具体的にどのような活動をするのか？

#### (1) 要望アンケートを実施します。

前述した通り学生自治会は、みなさんを代表して要望を大学に訴えかけていくことで要望の実現を目指していきます。そのためには**みなさんがどのような要望を抱いているのか把握する**必要があります。そこで、**中百舌鳥キャンパス・りんくうキャンパスの全学部生および全学域生を対象に要望アンケートを実施します。**

#### (2) 要望書を作成します。

学生自治会は、みなさんの要望を大学に訴えかけるため、アンケートに寄せられた**みなさんの要望や意見をもとにして要望書案**を作成します。また、要望書案を作成する際には、要望内容を補足し、分かりやすくするため要望に関する調査結果や参考資料などを掲載した要望書資料を作成します。なお、要望書案については、その内容が本当にみなさんの実情に即していて、みなさんのためになっているかを判断してもらうため、**2012年度後期自治委員会総会にて提議します。**

# 大学運営に関する活動

みなさんもご存じの通り、今年から本学では学域・学類制がスタートしました。

新しくなった大阪府立大学の中で学生に不利益が生じてしまうことがないよう、学生自治会は必要に応じて大学執行部をはじめとした関係各所と協議し、問題があればその改善を求めるなどしていきます。

## ◎ 学域・学類制の導入に関して、引き続き学生に不都合がないか確認していきます。

学域・学類制への移行に伴い、カリキュラムを中心としたさまざまな問題が発生しています。また今後、学域・学類制の学生の進級に伴い、新たな問題が発生する可能性があると考えられます。そこで学生自治会は、引き続き学域・学類制に伴う不具合が生じていないか確認し、大学に対して適宜情報公開や改善を求めていきます。

## ◎ 第２期中期目標・第２期中期計画・平成 24 年度計画に対する活動を行っていきます。

第2期中期計画をはじめとした大学の運営計画には、教員の削減や大学独自の奨学金の創設など、学生に対して影響の大きい項目が多く存在します。そこで学生自治会は、教員の削減については、教員への負担が増えることによる教育の質の低下の恐れや、教員の削減により専門科目が減少している学科が存在するなどの影響に対して、大学に改善や対処を求めるといった活動を行っていきます。さらに、大学独自の奨学金の創設については、竹内正吉学生センター長をはじめとした関係各所と話し合いを行い、本当にその奨学金を必要としている学生の助けになるよう、調整を行っていきます。

## ◎「大阪府市統合」の動きに関して注視し、大学へ学生の意見を届けていきます。

現在、大阪維新の会がマニフェストとして掲げている「府大と市大の一法人化」の議論が進められています。昨年12月27日には大阪府市統合本部が、6月8日には府大と市大の統合に関する有識者会議が設置され、現在さまざまな議論が進められています。府市統合本部会議では両大学の合併も視野に入れた検討・協議を行っていますが、議論を十分に行わないまま行政や大学執行部の独断のみで議論が進められ、学問および教育・研究の最高機関としての「大学」が軽視されることや、学生にとって不利益が生じるようなことがあってはなりません。そこで学生自治会は、「大阪府市統合」の動きに関して注視し、大学へ学生の意見を届けていきます。

# りんくうキャンパスについての活動

2008年度後期自治委員会総会にて、「りんくうキャンパスにも学生自治組織が必要だ」という学生の声があったことから、学生自治会はりんくうキャンパスでの活動を暫定的に行ってきました。

今年度より、正式にりんくうキャンパスを活動対象に含めることになりました。そこで、学生自治会では、一層りんくうキャンパスに根ざした活動を行うために、りんくうキャンパスで活動を行っていく「りんくうキャンパス局」を設置しました。

## これまでの活動

また、りんくうキャンパスの学生が友好祭や白鷺祭といった行事に参加しやすくすることを目的に、「総合学生室」の設置を検討してきました。しかし、りんくうキャンパスにおいて、一定の時間に固定の場所を取得すること、および人員の確保が困難であったため、「総合学生室」の設置はできませんでした。

学生自治会ではりんくうキャンパスの状況や学生の現状を知るために意見箱を設置し、大学などへの意見を収集してきました。また、より多くのりんくうキャンパスの学生が大学に関して情報を取得できるよう自治会総合情報誌『NASCA』やポスターを通じて情報宣伝を行ってきました。

要望書公開の際、中百舌鳥キャンパスに来ることのできないりんくうキャンパスの学生も、中継などの形で参加できるよう、大学に要請しました。しかし、同日にりんくうキャンパスにおいて卒業研究の中間発表会が行われることから、要望書公開回答に参加できるりんくうキャンパスの学生はほぼ皆無であると考えられたため、今年は中継を行わないという形になりました。

## 今後の方針

これから学生自治会はりんくうキャンパス局を中心に情報収集を行い、りんくうキャンパス独自の環境の把握に努めます。そして、りんくうキャンパスの学生にとって必要な活動を模索し、適宜行っていきます。また、りんくうキャンパスの学生に対して、大学に関する情報の宣伝を行います。

**学生自治会はりんくうキャンパスに根ざした活動を努めていきます。**

# 情報収集・情報宣伝

自治会活動を行う上で学生自治会では、よりよい学生生活を実現するためには学生などからの情報・意見を把握し、取り入れることが大切であると考えています。また、その情報・意見を基に情報を発信することも大切です。そのためには、大学や自治会活動について知ることが容易で、意見の発しやすい環境づくりが必要です。そこで、学生自治会では以下のような情報収集・情報宣伝を行っています。

## 情報収集

学生自治会では、意見箱やウェブサイトの掲示板、メール、アンケートといった情報収集手段を活用し、学生から意見を収集しています。寄せられた意見は検討し、学生生活や自治会活動に反映、必要に応じて大学をはじめとした関係各所に伝えています。

また、大学の動きや社会情勢を把握するために学生センターや大阪府立大学教職員組合との話し合いなどを行い、情報を収集しています。

## 情報宣伝

学生自治会では、自治会総合情報誌『NASCA』や立て看板、ビラ、ポスター、学生自治会ウェブサイトなどの情報宣伝手段を活用し、学生生活に関わる様々な情報を発信しています。

また、学生自治会ウェブサイトでは配布された『NASCA』や要望書公開回答の情報など掲載しています。

**学生自治会では現状の情報収集・情報宣伝方法の改善や新たな収集・宣伝方法を検討しています。そして、より多くの学生が興味・関心を持てるような情報宣伝や、より多くの学生から意見を取り入れることができる情報収集を心がけ、これからも学生自治会は活動していきます。**

# 立て看板管理局

## 概要

立て看板は情報宣伝手段として有効な手段です。しかし、立て看板やステージバックは、扱いを誤った時や強風時には大きな危険を伴うので、運用には十分に注意しなければなりません。

そこで、学生自治会は立て看板の安全管理・運用を行うために立て看板管理局を設置しています。

## 立て看板を安全に管理するために

1、 強風時には立て看板が倒れて怪我人が出る危険があるため、事前に立て看板を倒します。
2、 立て看板の状態がよいかどうか定期的に点検を行い、必要があれば補修も行います。
3、 利用団体には正しく取り扱ってもらえるように注意を促し、さらに講習会を開くなど、安全に立て看板を取り扱える体制を整えていきます。

## 白鷺祭開催期間中について

白鷺祭ではイベントなどの宣伝のために立て看板が多く立ち、また立て看板の扱いについてよく知らない一般の方も多く参加します。そのため白鷺祭開催中は立て看板による事故が起きる可能性が大きくなります。

管理局では事故を未然に防ぐために、白鷺祭開催中に継続的に立て看板の見回りを行います。その他にフリーマーケット出店者をはじめ、立て看板のそばにいる人に対して注意を呼びかけるビラを配るなどの対策も行います。

# 学生団体連絡会議

**学生団体連絡会議とは**

学生団体間の情報交換や、様々な調整及び、単独の学生団体だけでは解決するのが難しい問題に対処するため、行っている会議のことです。

**これから**

引き続き月に一度、学生団体連絡会議を開きます。その場において第39回七夕祭実行委員会に協力することとし、活動場所として学生自治会室を提供する、実行委員として自治会役員が参加するなどしました。これら以外に学生団体連絡会議の構成団体として大学の情報・実情を把握するため、また意見交換を行うことで大学と学生の相互理解を深めるために、月に一度、学生センターとの話し合いを引き続き行っていきます。また学生センターとの話し合いで有益な情報が得られた場合、自治会総合情報誌『NASCA』やウェブサイトなどを通して学生に発信していきます。

# 大型ＰＡ再購入実行委員会

**大型ＰＡ再購入実行委員会とは**

大型音響機器（以下、大型PA）の再購入を円滑に行い、クラブやサークルなどの課外活動を充実させ、大学内の文化的発展を目的に活動している団体です。

**これから**

学生自治会は、大型PA再購入実行委員会の構成団体として、大型PA再購入実行委員会の活動を行っています。大型PA再購入実行委員会は定例会を開き、大型PAの現状確認や構成団体間の情報共有、次回の第4期再購入が円滑に行われるよう調整を行っていきます。また、大型PA再購入実行委員会規約の見直しおよび改正を行いました。その他にも修理が必要になった場合は大型PA積立金などを用いて対処していきます。

# ステージ管理委員会

**ステージ管理委員会とは**

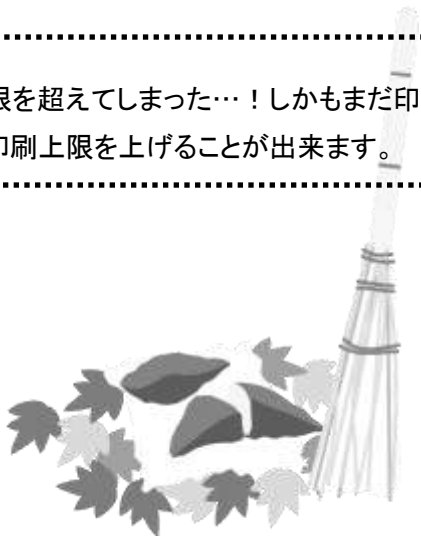
学生が所有するステージの管理・運用、およびステージの再購入に関する活動を行い、それを通じて大学内の文化的発展を図ることを目的に活動している団体です。ステージ管理委員会内には日頃のステージの管理・運用を担当する管理局が設置されています。

**これから**

学生自治会はステージ管理委員会の構成団体として、ステージ管理委員会の活動を行っています。ステージ管理委員会はステージを安全に管理・運用していくため、定例会を行い、ステージの現状確認や、ステージの運用・管理・再購入に関する話し合いを行っています。また、ステージを安全に運用するために管理局が中心となり、ステージの監視・保護およびステージの利用団体に対しての注意喚起などの管理業務を行っています。

ちょっとした豆知識

大学でパソコンからレポートなどを印刷していて、印刷上限を超えてしまった…！しかもまだ印刷したいものがある。そんな時はちゃんと申請をすれば、印刷上限を上げることが出来ます。



# 決算・予算について

**2012年度前期自治委員会総会で、会計に関して以下のことを報告します。**

| | |
|---|---|
| **決算報告** | １年間で学生自治会がどのようなことに自治会費を使ったのかを学生のみなさんに知ってもらうために、会計報告を行いました。中途退学者一人出たために自治会費の返還をしました。 |
| **予算案提議** | これから1年間で自治会費がどのようなことに使われるのかを提議し、みなさんに判断してもらいました。 |
| **会計監査報告** | 前期自治委員会総会に先立って、昨年度選出された会計監査委員が領収書を確認し、学生自治会の会計に不正や誤りがないか、用途が明瞭であるかを監査しました。その結果、前期自治委員会総会にて2011年度の学生自治会の会計に不正がなかったことが報告されました。 |
| **質疑応答** | 会計に関する質疑応答が行われました。学生から多くの意見・質問が寄せられました。 |

## ――――――――＜決算＞――――――――

以下では学生自治会の決算分の会計項目と説明を掲載しています。なお具体的な金額は載せていません。何かご不明な点や疑問点があれば、学生自治会室に来ていただければ、担当者が資料とともに説明します。

### ――――――――収入の部――――――――

| | |
|---|---|
| **自治会費** | みなさんからお預かりした学生自治会の加盟費です。 |
| **利息収入** | 自治会費を銀行に預金していることで発生する利息です。 |
| **印刷収入** | 学生自治会のコピー機や印刷機の使用料です。コピー機・印刷機で消費されるインク・マスター・トナー・用紙の補充などにあてています。 |
| **OA機器購入費** | 例年学生自治会は、パソコン・プリンターなどの購入費を、支出項目の「OA機器購入費積立金」として積み立てています。その中からOA機器を購入するのに必要な金額を収入に計上しています。 |
| **繰越金** | 前年度からの繰越金です。 |

### ――――――――支出の部――――――――

**【執行費】**

| | |
|---|---|
| **中百舌鳥キャンパス学生自治会行事主催費** | 中百舌鳥キャンパス学生自治会が主催する行事のための予算です。この1年間では支出していません。 |
| **クラスオリエンテーション費** | 2012年度の入学者を対象としたクラスオリエンテーションにかかる費用です。昨年度はパンと飲み物の配布を行わなかったので支出していません。 |

**【援助金】**

各団体への援助金です。「その団体の活動が学生生活を豊かにするものであり、援助を必要としていて、適切な会計処理が行われている」と学生自治会が判断した団体にのみ援助を行いました。昨年度の援助団体は次の通りです。

第63回白鷺祭実行委員会・第５１回友好祭実行委員会・第38回七夕祭実行委員会
白鷺音響企画共同体S.T.A.F.-1・第30回全学新歓実行委員会

## 【書記局費】

| | |
|---|---|
| **事務経費** | 学生自治会の活動において使用する、模造紙などの事務用品の購入費です。 |
| **OA機器購入費** | 学生自治会が所有するパソコンや周辺機器に関する購入費です。昨年度はプリンターを購入しました。 |
| **OA機器諸経費** | プリンターのインクやセキュリティソフトなどなど学生自治会が所有するパソコンの周辺機器で消耗するものの購入費です。 |
| **備品** | 学生自治会にある備品の購入費です。机などを大学から譲り受けたので昨年度は使っていません。 |
| **印刷用紙** | 学生自治会発行の冊子などの印刷に必要な紙にかかる費用です。 |
| **コピー・印刷機等維持費** | 学生自治会に置いている、コピー機・印刷機のトナー・マスターなどの購入費や維持費です。再購入にあたって、印刷機の保守費がサービス対象になったため、支出が減りました。 |
| **新聞・書籍購入費** | 学生自治会の情報収集のための新聞・書籍の購入費です。 |
| **通信費** | 学生自治会が情報収集するためのインターネットの接続料金や、電話料金です。 |
| **研修費** | りんくうキャンパスで活動する際の交通費と自治会セミナーに参加するための費用です。組織改編をするにあたって、他大学の学生自治会の運営や組織形態を学ぶために参加しました。 |

## 【積立金】

| | |
|---|---|
| **大型PA再購入実行委員会積立金** | 大型PA再購入実行委員会が行っている、大型PA（大型音響機器）の再購入のための積立金です。学生自治会は積立金の一部を負担しています。 |
| **次期コピー機・印刷機購入費** | 自治会室に置いてあるコピー機・印刷機を再購入するために、学生自治会で積み立てている費用です。 |
| **OA機器購入費積立金** | 自治会室に置いてあるパソコン・プリンター等を再購入するために、学生自治会で積み立てている費用です。 |
| **ステージ管理委員会積立金** | ステージ管理委員会が行っているステージの再購入するための積立金です。学生自治会は積立金の一部を負担しています。ステージ管理委員会積立金には、ステージを管理するための費用であるステージ管理費も含まれていました。 |

# ――――――――＜予算＞――――――――

今年度の学生自治会の予算を掲載しています。昨年度、文化部連合の会計が改善されたこともあり、今年度は文化部連合に入学手続きの際に配布する冊子、『樹』の発行の援助金を

出すことになりました。

## ――――――――――収入の部――――――――――

利息収入と繰越金以外が前年度と変わったところです。

| | |
|---|---|
| **自治会費** | 今年度は入学手続きの際に誘導間違いがあり、収入が減少しました。 |
| **印刷機購入費** | 学生自治会が所有する印刷機を購入するお金です。支出の部の印刷機購入積立金から出しています。 |
| **特別繰越金** | 現在の学生自治会の前の学部自治会で残っていた繰越金分です。 |

## ――――――――――支出の部――――――――――

### 【執行費】

使用目的は決算と同じなので省略しました。これからどのように使うのか協議していきます。

### 【援助金】

今年度に援助を行う団体です。援助を決める条件は決算の項目にて記載しています。

**第64回白鷺祭実行委員会・第５２回友好祭実行委員会・第39回七夕祭実行委員会**
**白鷺音響企画共同体S.T.A.F.-1・第31回全学新歓実行委員会・文化部連合**

### 【書記局費】

事務経費、OA機器諸経費、OA機器購入費、印刷用紙、コピー機・印刷機等維持費、通信費、備品と研修費は決算の部での説明と同じなので省略しました。以下、大きく変わったところだけを説明しています。

| | |
|---|---|
| **印刷機購入費** | 学生自治会の印刷機を新しく買い替えるためのお金です。 |
| **書籍購入費** | 学生自治会の情報収集のための新聞・書籍の購入費です。情報収集今年度は新聞を購入しません。そのため、予算を少なく見積もっています。 |

### 【部局活動費】

学生自治会の部局が活動するためのお金です

| | |
|---|---|
| **立て看板管理局費** | 破損した立て看板を修理したりするために使われます。 |

### 【積立金】

前年度と大きく変更していませんが、体育会から負担しているステージとOA機器購入費積立金の援助金を減らしてほしいとの願いがあり、その負担分の一部を代わりに学生自治会が負担することになりました。またステージは、ステージ管理委員会積立金とステージ管理費を分け、使用用途を明確にしました。それ以外の点で、大きく変更した点はありません。

# 要望アンケートを行いますっ！

「○○がなくて困っている。」「大学が○○してくれたら……」
皆さんが日頃抱いているそんな要望や不満を学生自治会は集めています。
学生の意見を要望アンケートによって集め、まとめて大学側に提出し、
「よりよい学生生活」を目標に要望の実現を目指します。

## 実施期間: 9 月 26 日(水)～11 月 22 日(木)

アンケートには下記の様々な方法で回答できます。

①授業前に自治会役員が配布するアンケートに記入し、授業後そのまま机の上に置いてください。自治会役員が回収します。

②構内各所の意見箱や回収箱にアンケート用紙を提出してください。
回収箱は各棟に、意見箱はB12棟学生会館１階やC5棟図書館入口などに置いてあります。

③アンケート用紙を学生自治会室(B12棟2階)に直接持っていく、もしくは学生自治会のウェブサイトからの回答もできます。

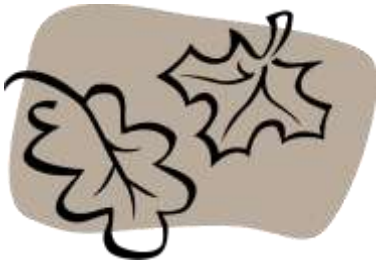
## 今回の要望アンケートは……

府市統合、学費、講義・履修、課外活動、施設・設備などについてのアンケートを行います。
授業料の増額や奨学金、CAP制に抽選制度、クラブや大学の設備についてなど、
大学生活に関する学生の意見・要望を集めています。

**<u>あなたの意見が必要です！ぜひ、回答してください！</u>**

## 過去の交渉の結果……

- ●図書館の利用時間が延長しました！
- ●すべての講義室にエアコンが設置されました！
- ●食堂が増改築されました！
- ●生協前にスロープができました！



**学生自身が声を合わせて大学に訴えることで、要望の実現に近づきます。**
**どんな内容でもいいので要望アンケートにご記入ください！**

# 前期自治委員会総会の感想文に対する回答

2012年度前期自治委員会総会では、感想文を通して多数の意見・質問が学生自治会へ寄せられました。

ここでは、それらに対する学生自治会の回答を掲載します。

## 決議案提議に関して

**質問：「大阪府市統合」の動きに注視とは、具体的にどういった活動を行うつもりなんですか？学生に向けて発信はどういった形でするつもりですか。**

**回答：**決議にありますように、情報収集手段を活用して、府市大統合の情報を収集し、また、情報誌などを用いて学生に周知します。

**質問：[大学運営に関する活動]の(1)の「学部制の専門科目が隔年開講になる」事に対する返答がかかれていないのですが、どのような返答があったのですか?**

**回答：**大学からは、「原則として、隔年開講化が進んでいるのは高度な専門科目であり、今後の科目の履修にとって必要な専門基礎科目などは毎年受講できるように図っている。万一、専門基礎科目で隔年開講化してしまって、他の科目の受講に差し障りが出るような事態があれば、知らせてほしい」という旨の返答がありました。

また、隔年開講化は、学習の機会を損ない、また、学生の学びたいという意欲を疎外すると学生自治会は考えたため、各専門科目を毎年開講してもらえるよう、話し合いを行いましたが、「高度な専門科目であればあるほど、教えることができる教員の確保が困難となるため、毎年開講することは難しい」との返答がありました。

**意見：**府大市大統合について市大の学生団体を知らないというのは「注視」していないのではないのか。

**回答：**大阪市立大学に存在する公式の学生団体については、すべて調査を行いましたが、その際「学生自治会」を見つけることができませんでした。しかし、「非公式団体」（サークルなど）としてならば、存在するのではないかという考えのもと、調査中であったため、総会当日は「大阪市立大学の学生団体を把握しきれていない」という旨の返答をさせていただきました。現在では、公式・非公式ともに大阪市立大学に「学生自治会」が存在していないことは確認しております。

**質問：「総合学生室」という形でおけなかったならば、何か別の形で対応したのか。**

**回答：**両委員会に対し、「総合学生室」について、「りんくう生が中百舌鳥キャンパスとの地理的な距離に疎外されず、白鷺祭および友好祭に関して、企画出店の手続きなどの活動を行うための場」といった方針の提案を行ってはいましたが、実際の活動方法などについては綿密な協議がなされていなかったことから、総会当日は「両委員会との間で協議を行うことができなかった」といった旨の返答をさせていただきました。
また、「総合学生室」が実現・発足した際には、「総合学生室」が学生自治会の発案である以上、両委員会に不利益が生じることのないように取り計らっていくつもりです。

**質問：第 39 回七夕祭において、七夕祭の原点に戻り首都大戦を盛り上げることを目的としていることに決定したということだが、首都大戦を盛り上げるためにどういったものを行おうと考えているのか。**

**回答：・第 39 回七夕祭では首都大戦を盛り上げるため、本学の学生や地域住民がスポーツに関心を向けていただけるよう、スポーツコンテストやマネージャーコンテストなどの企画を実施しました。**

**質問：「立て看の管理の強化」は白鷺祭だけなんですか？それとも今年のことだけを考えそのように表現しているのですか？**

**回答：決議にあるものはこれから半期の活動方針ですので半期分の活動しか書いていません。決議にありますように、白鷺祭本祭典中には立て看板の周囲にロープを貼る等管理の強化を行います。日ごろの管理は今までと同様に実施していきます。**

**質問：理学部がなくなってしまったのでこれから 4 理 inLAB はどうなるのですか？**
**なんで理学部だけそんな冊子があるのですか？**
**少し他学部にとっては不公平感が出てしまいました。**
**同じ学費を払っているのだから公平にして欲しいです。**

**回答：**研究室についての情報が少なく、どの研究室を選べばよいかイメージがわかない」という理学部の学生からの声があったことがきっかけとなって、理学部の学生を対象に研究室紹介冊子『４理 inLAB』を配布していました。しかしながら、『４理 inLAB』が研究室を決める際の具体的な指標になったかどうかを確認するための評価アンケートを行ったところ、回収枚数が 30 枚と在籍人数から鑑みて十分な枚数を回収することができませんでした。そのため、正確な反響をつかむことができず、持続的な活動は困難と判断したため、2011 年度 5 月 7 日の発刊を最後に『４理 inLAB』についての活動は終了しました。

**意見**：どれが決議案なのか分からなかった。
案なら案と示すべき。今回は、「方針」が案なのか？
又、どういった活動をしてきたのか、どういった活動を予定しているのか、各活動について詳細を示してほしい。

**回答**：学生自治会は緊急時には活動方針にない活動も行います。そのため、活動報告という形で学生の皆さんの承認を得る形を取っております。ですので、活動報告も含めて決議案となります。
自治委員会総会での決定が私たちの活動方針となります。

## *決算報告・予算案提議に関して*

**意見**：セキュリティソフトは無駄ではないのか？有料ソフトじゃなくてフリーでもいいやつはあるが…。

**回答**：自治会のパソコンには個人情報や消失してはいけないデータなど、大事なものを扱っています。無料ソフト場合、有料のものに比べて機能が少なく、もしウィルス感染したときに保証がかかりません。個人で扱っているものではないので、学生自治会が管理にするために有料ソフトの使用を行っています。

**質問**：白鷺祭実行委員会の予算(決算)が去年よりまた増えているのは何故ですか？

**回答**：学生団体の援助金は、団体の会計の方と話し合った上で決めています。そのため、予算のようになりました。

**質問**：友好祭の開催日数の減少に伴い、予算が減額していますが、減額した分はその他の項目に加算されてはいないのでしょうか？

**回答**：自治会は営利を目的には自治会費を使っていません。ですので、自治会の何らかの活動で還元するようにしています。

**質問**：印刷機購入費積立金って今年で全額使ってしまうとこれから何かあったら大変じゃないですか？

**回答**：印刷機購入費は、別に積立金を設置しそちらから捻出しているため、急に必要になった場合に対応するお金とは別となっています。

**質問：**書記局費は削減しないのか？

**回答：**書記局費は、これからも無駄の削減を行い減らすようにしていきます。具体的には印刷機の紙の消費量を減らしたり、余分な物品の購入を行わないようにして削減を行っています。

**質問：**研修費はどの活動に使っているのか？

**回答：**りんくうキャンパスでの活動を行う際にかかる費用になります。また、入学式の際のクラブ紹介が円滑に行われるようにするためにかかる費用にも使われています。

**質問：**研修費の予算と決算が違うのはなぜか？

**回答：**今年度セミナーに参加しないのでこのようになりました。

**意見：**クラスオリエンテーションの時にご飯系のものを出してほしい

**回答：**いつから始められるのかわからないのでご飯のようにあしがはやいものを出すわけにいきません。

**質問：**入学手続きの時の誘導ミスってどういうことですか？ちゃんとしてください。

**回答：**来年度はこのようなことがないよう、大学と学生団体間で話をちゃんとして決めようと考えています。

**質問：新聞はどこのをとっていたのですか？**

**回答：**朝日新聞のみを取っていました。それは、朝日新聞がとくに教育に関して詳しい記事を掲載していていると判断したためです。

**意見：**会計の方の発言の「とりあえず」って何ですか

**回答：**公の場にふさわしくない言葉を使ってしまい申し訳ありません。後期ではそのようなことがないように気をつけます。

**質問：自治会費とはなんですか？**

**回答：**自治会室に来てくだされば、担当のものが説明します。

**意見：予算・決算の会計資料の回収が早いです。**

**回答：**この資料には角印を押しているため、流失を防ぐために回収を行っています。もし、会計資料が見たい場合は、お近くの議運にお声をおかけください。

**質問：学費の方に自治会費を盛り込む事は出来ないのか？**

**回答：**学費は大学に支払うもののため、自治会費の徴収をすることはできません。また、大学と独立している学生自治会が自治会費を学費にもりこむことは出来ません。

**意見：交通費を研修費から出しているのはおかしい**

**回答：**自治会の活動で本当に必要なときに使っています。会計がおかしいということはありません。

**質問：自治会の加盟手続きのミスはどうして起こったのか？**

**回答：**自治会が手続きを行った３階への誘導は生協に任せていました。しかし、当日誘導する人が誰もいなかったため、おおよそ100人の人が何も知らないで帰ってしまうという事が起きてしまいました。来年度は、このことがないように各方面で調整を行っていきます。

**質問：新聞をやめたのは何故ですか？**

**回答：**現在の新聞では、偏った報道やちゃんと情報を流すことがないため、新聞を主にして情報収集する意義が失われています。そのため、現在の情報収集の体制を見直した結果、新聞にこだわるのではなく様々なものを駆使して情報集する方がいいと判断したためです。

**質問：**今年度の第64回白鷺祭への援助金が5,000円減額されているのはなぜですか？

**回答：**援助金は減額はしていません。

## *総会全体に関して*

**意見：**●学科・学類・学年ごとの話し合いを、会計資料を数えている間、暇な、ムダな時間が存在します。

●会計資料回収に時間がかかりすぎです。

●議題提出者が発言している途中にもかかわらず、議場を自治会役員が注意や確認のためにうろついており、気が散るのであまり歩き回らないでほしい

**回答：**ありがとうございます。このような意見があったことを考慮し、今後の総会運営の方法を検討します。

**質問：話し合いがいるのか？**

**回答：**総会において、各学科または学類の学年ごとの代表である代議員だけが議決権をもつため、代議員には採決の際に学科または学類・学年の代表としての立場を示していただく必要があります。そこで、採決に直接は参加できない評議員の考えも反映していただくため、各学科または学類の学年ごとで話し合っていただいています。

## *その他*

**質問：●代議員・評議員を分別する理由はなんなのか、よく分からない。同じように等しく学生生活を送っているのに違い、差があるのはおかしい。**

**●最後の話し合いで代議員のみで行うとき評議員が残っている必要性があるのかないのかが分かりません。**

**●代議員の選出方法について**
**どのような基準で選出しているのかお教え願いたいです。**

**回答：**各学科及び学類間での決定権の差が生じないよう、代議員の定数は各学科の在籍人数に応じて決められています。そのため、自治会費を納められている方でもすでに所属学科・学類の代議員の定員に達してしまっている場合は評議員となります。ご了承ください。

ここで、学科･学類の代表たる代議員がその人個人の意見ではなく、学科･学類の意見を示すためには、評議員の意見が必要です。そのため、総会前半では学科･学類ごとに座席をわけています。

**意見：毎度のことだが、受付が混雑しているため、開会が遅れているということだが、改善することはできないだろうか。毎回同じ方法で受付しているため、もっと流れをよくするための方法を考えて、実行してみてはどうだろうか**
**いつも時間がおすので、つらいです。帰りとか。**

**回答：ありがとうございます。このような意見があったことを考慮し、今後の総会の受付の方法を検討していきます。**

**意見**：4理 in LAB に関して「回収することができませんでした」って自治会さんが取りにくる、といった日に来なかったからではないんですか、アンケートやらせておいて、取りに来ないって何様ですか。

**回答**：大変申し訳ございません。今後このような事がないよう気を引き締めて活動を行っていきます。

**質問**：人社の冊子はなくなったんですか？

**回答**：アンケートの回収枚数が少なかったため、正確な反響をつかむことができず、持続的に活動していくことは困難だと判断したため、2011 年度 5 月の発刊を最後に人間社会学部情報誌[human]についての活動は終了しました。人間社会学部に限らず、取り上げてほしい問題点があれば、学生自治会までお寄せください。

**質問**：クラスオリエンテーションの場所はどうやって決めるのですか？

**回答**：大学と話し合って決めることになります。

**質問**：インターネットは無線LANにしないんですか？

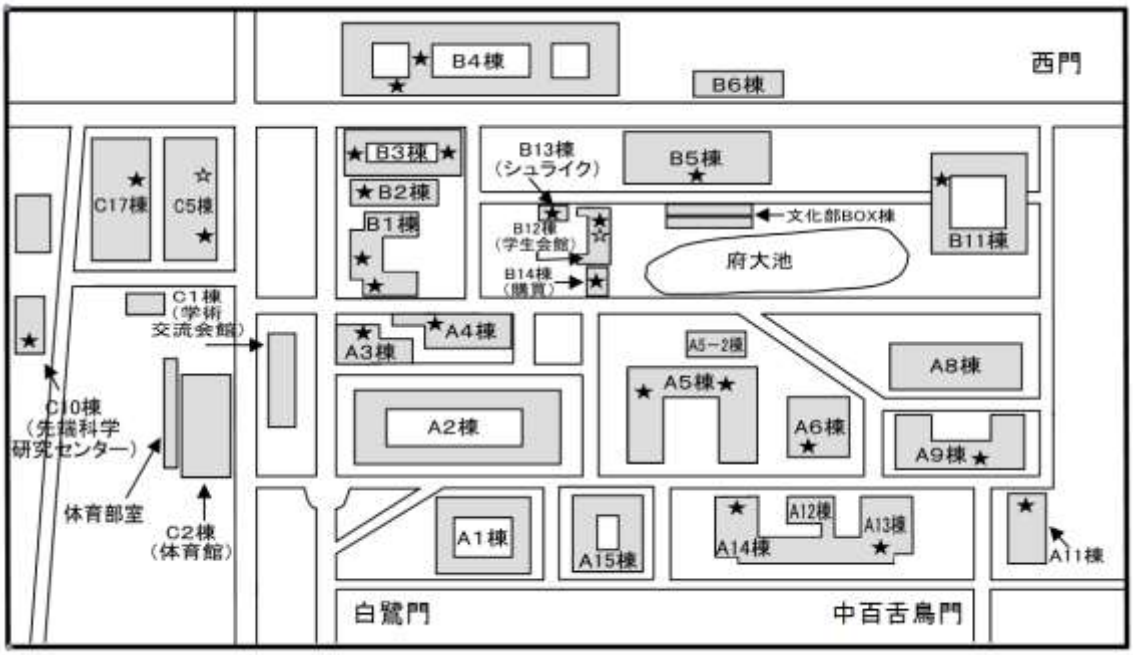
**回答**：自治会で検討します。

なお学生自治会では、意見箱やウェブサイトを通して引き続き皆さんの声を募っています。もし意見などがあれば、ぜひご利用ください。

**寄せられた意見などは、今後の学生自治会がよりよい活動を行う上での参考にさせていただきます。**

**ありがとうございました。**

要望アンケートの回収ボックス 学内地図(☆:意見箱 ★:回収箱)




2012 年　9 月　29 日　初版　第一刷発行

発行所・印刷所　大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会
大阪府堺市中区学園町 1－1
大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
B12 棟(学生会館) 2 階　学生自治会室

連絡先　Tel ： 072-257-4301(内線　2745)
Fax： 072-257-4301
web： http://zichikai.ehoh.net/
e-mail： ziren@cd6.so-net.ne.jp

代表者　船見 達洋

乱丁・落丁はお取り替えします。B12 棟 2 階の自治会室までお越しください。